



かやみゆま

令和2年12月23日
京都市立鏡山小学校
(TEL 581-2183)
(FAX 581-2184)

12月実施 学校評価 結果報告

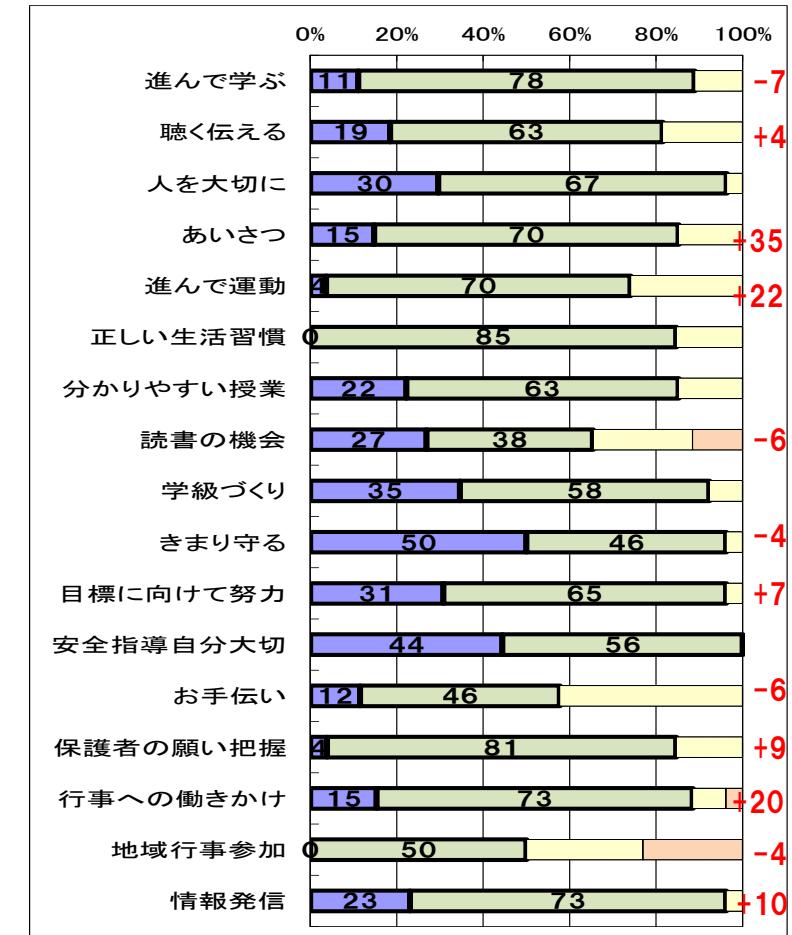
表の見方について

各項目左はし□ …できている（数字は%）

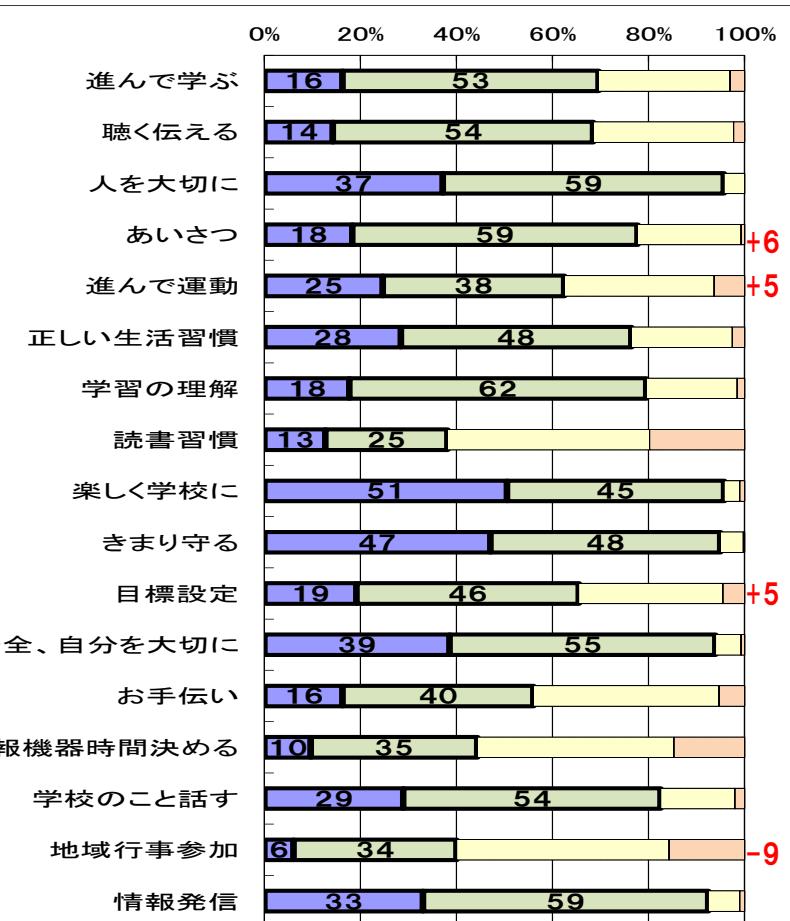
各項目左から2つ目□…だいたいできている（数字は%）

各項目右端数字…7月比で+ - 3%以上のもの

＜教職員＞

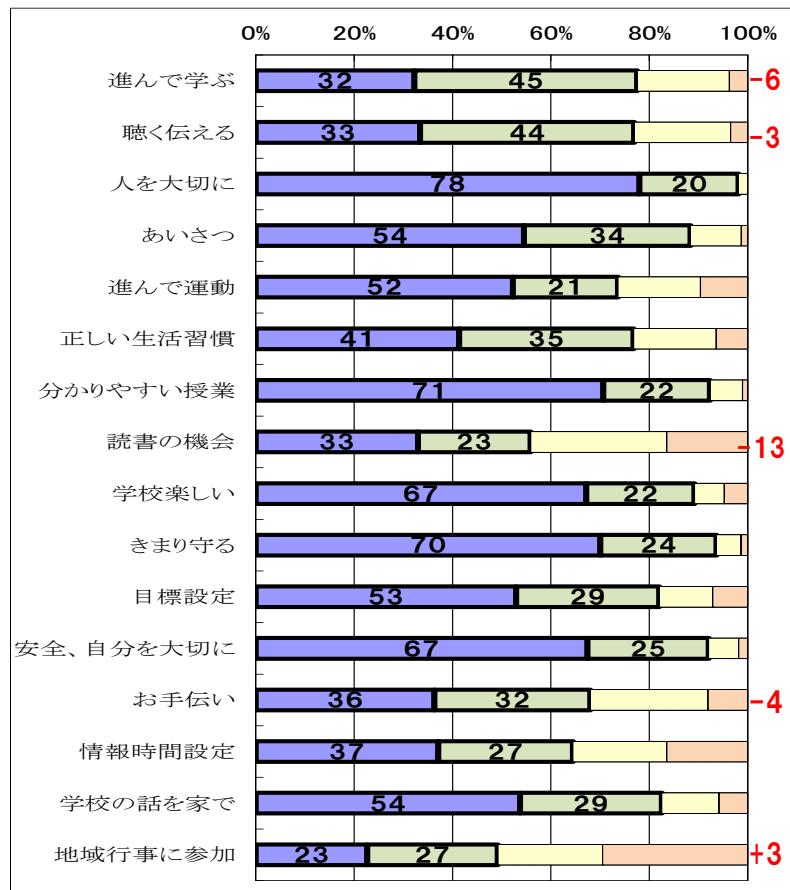


＜保護者＞



12月実施 学校評価 結果報告

＜児童＞



アンケート結果より

<全体>

- 保護者アンケートの結果が7月実施のアンケートより全体的に上昇傾向だった。
- 「人や自分を大切に」の項目の実現度が高かった。

▲

- 児童アンケートの結果が7月実施のアンケートより全体的に下降傾向だった。
- 「お手伝い」「情報機器の時間を決める」「読書習慣」の実現度が低い。

<児童>

- 「進んであいさつをする」の実現度が上がった。
- ▲ 「読書の習慣」が低学年は上がっていれるが、中高学年は下がっている。
- 「進んで学ぶ」が低中学年を中心に下がっている。

<保護者>

- 「学習の理解」「進んで運動」「目標の設定」といった項目で、7月実施のアンケートより特に伸びが見られた。
- ▲ 「読書の習慣」と「情報機器の時間設定」は数値が低く、課題と言える。
- 特に「読書習慣」の実現度が一番低い。

<対策>

- 「読書」については数値が下がっています。低学年は週に1回の学校図書館での活動を定期的にとれていますが、中高学年は休校分の授業を回復する関係で定期的に利用しきれていない状況です。学校でも引き続き隙間時間を使った読書や、多くの教科学習での学校図書館利用を継続していくよう思います。また、本項目は保護者のニーズ度(重要度と実現度との差)も全17項目中一番高いです。「情報機器の時間設定」も読書と同様に実現度が低いですが、子どもたちの家庭での生活が情報機器から読書へと少しでも変わっていくよう、ぜひご家庭でも本や新聞が身近にある環境づくりをしていただけたらと思います。
- 「運動習慣」は本校の課題ですが、7月に比べて実現度が上がりました。コロナ禍で落ち込んだ運動習慣ですが、部活動を早期に再開したり、休み時間に教職員が運動場で子どもたちと遊んだりと、身体を動かす環境づくりに取り組んでいることで、最近では外遊びをする児童も増えてきています。ただ、今年度の本校の体力結果を見ていると全市平均や全国平均を下回っています。地域の公園での遊びも限られていますが、放課後や休みの日にも身体を動かす習慣が身についていくよう、ご協力をお願いします。
- 「お手伝いを進んでする」の項目の実現度も低いです。コロナ禍の中、学校でもできる範囲で係活動や当番活動に取り組んでいますが、進んで行動してくれる子も多いです。誰かのために自ら進んで行動する態度は社会性にもつながります。冬休みを機にぜひご家庭でも子どもたちに役割を与えていただき、定着するようお声かけと実践をよろしくお願いします。